

国道226号喜入前之浜地区の災害に関する助言 (鹿児島県鹿児島市喜入前之浜町)

鹿児島県鹿児島市喜入前之浜において、6月21日に線状降水帯による降雨により斜面崩壊が発生。現地状況の詳細な把握及び応急対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

出席者:鹿児島大学 地頭蘭名誉教授、酒匂教授

● TEC-Doctorによる現地調査(令和6年6月21日)

被災状況



応急復旧状況



現地確認



TEC-Doctor
鹿児島大学 酒匂教授

TEC-Doctor
鹿児島大学 地頭蘭名誉教授

【TEC-Doctorの見解】

【地頭蘭先生】

- ・まだ落ちきっていないシラスが残っているが、大型土嚢を3段と背面にポケットがあるため、とりあえず応急処理としてはこれで問題ない。
- ・大型土嚢を設置する際は、できる限り道路際に設置し、可能な限り背面ポケットのスペースを確保することが望ましい。

【酒匂先生】

- ・法面については、被災箇所上端より、雨水が流れ込まない様にすればよい。最終的な復旧については、法枠等の対応でよいと思われる。